

課程 / Program	後期課程	開講年度・学期 / Semester	2025年度 2期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	特殊講義 II 英語学・英語教育学		
授業担当教員/Faculty	佐藤 一嘉		
授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	この講義では、博士後期課程における学修の基礎として、人文・社会科学研究、英語学・英語教育学研究の動向と基礎概念、科学的研究と研究者の在り方について学び、その基礎の上に、英語教育学研究に必要な研究法の知識・技能と専門的知識を修得する。研究法については、量的研究法・質的研究法・混合法についても理解を深め、研究法の学修で得た知識を参考にして、学習者要因、指導法、言語テストに関する英語教育学研究の到達状況と成果について学修して、自律的な研究に進むためのコースワークを行う。		
授業計画 / Schedule	第1回 人文・社会科学研究の動向と基礎概念 (Trends in social science research) 第2回 英語学・英語教育学研究の動向と基礎概念 (Trends in English language studies) 第3回 科学的研究における研究者の役割と研究倫理の在り方 (Researcher's roles) 第4回 研究法 (量的研究・質的研究) の研究事例と課題 (Research issues—qual/quant) 第5回 混合法 (概要と事例) の研究事例と課題 (Research issues—mixed methods) 第6回 第二言語修得における学習者要因の役割 (Individual differences) 第7回 第二言語修得における学習者要因の研究法と研究事例 (Research methods in ID) 第8回 第二言語修得における学習者要因についての研究成果と課題 (Research results in ID) 第9回 第二言語教育における指導法についての考え方 (Second Language teaching) 第10回 第二言語教育における指導法についての研究法と研究事例 (Instructed second language acquisition) 第11回 第二言語教育における指導法の研究成果と課題 (Research issues in SLT) 第12回 第二言語学修における評価と言語テストの考え方 (Language assessment) 第13回 第二言語学修における評価と言語テストの研究事例 (Research results in LA) 第14回 (Online) 第二言語学修における評価と言語テストの研究成果と課題 (Research issues in LA) (オンライン授業) 第15回 研究課題の整理と考察 (Summary)		
成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み、課題への対応状況、レポートの成績を総合的に判断して行う。		
教科書 (参考書) / Textbook/Reference Materials	教科書は使用しない。資料を配付する。 参考書については初回の授業で説明する。		

課程 / Program	博士後期課程	開講年度・学期 / Semester	2025年度 2期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	特殊講義 II 日本語学・日本語教育学		
授業担当教員/Faculty	坂本 正		
授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	この講義では、I期で学んだ日本語学・日本語教育学研究の動向と考え方、科学的研究と研究者の在り方を基礎にして、日本語学・日本語教育学研究に必要な研究法の知識・技能と専門的知識を修得する。日本語能力の評価、日本語学・日本語教育学研究に必要なITリタラシー、JASPを使った統計分析、第二言語習得研究と指導法、日本語のテスト開発、日本語教育教材開発研究について学修して、自律的な研究に進むためのコースワークを行う。		
授業計画 / Schedule	第1回 オリエンテーション 第2回 言語評価の考え方 第3回 日本語教育における評価研究の変遷と課題 第4回 日本語の口頭能力の評価(OPI) 第5回 日本語のWriting能力の評価と自動評価 第6回 日本語学・日本語教育学研究に必要なITリタラシー 第7回 JASPを使った統計分析の実践（基礎） 第8回 JASPを使った統計分析の実践（応用） 第9回 言語教育における指導の効果研究 第10回 Focus on Meaning、Focus on FormsとFocus on Form 第11回 第二言語習得研究と外国語（日本語）教授法 第12回 日本語テストの考え方とテスト開発 第13回 日本語教育教材開発研究 第14回 日本語学と日本語教育学と日本語習得研究の関係（online授業） 第15回 まとめ		
成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み、課題への対応状況、レポートの成績を総合的に判断して行う。		
教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	教科書は使用しない。資料を配付する。 参考書 第二言語習得研究会（1997～2019）『第二言語としての日本語の習得研究』第二言語習得研究会 當作靖彦（監修）李在鎬（編）（2019）『ICT X 日本語教育』ひつじ書房 真嶋潤子（編著）（2019）『母語をなくさない日本語教育は可能か 定住二世児の二言語能力』大阪大学出版会		

課程 / Program	博士後期課程	開講年度・学期 / Semester	2025年度2期
授業区分	週間授業	合併講義等	なし
授業名 / Subject	特殊講義 II グローバルコミュニケーション		

授業担当教員/Faculty	大岩 昌子
----------------	-------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	<p>博士後期課程における学修の基礎として、科学的研究と研究者の在り方について深く学ぶ。そのうえで、人文・社会科学研究、音声・音声習得研究の動向を見極め、音声習得研究に必要な研究法の知識・技能、および専門的知識を修得する。研究方法については、量的研究法・質的研究法の両面から理解を深めていく。これらを踏まえたうえで、とりわけ中国人日本語学習者と日本人中国語学習者の音声習得に関する最新の研究の現況と成果について学修し、自律的な研究を行うことができるようになる。</p> <p>第14週のみZOOMによるオンライン授業となる。 受講登録をした受講生には大学の電子メールで授業開始前に連絡する。</p>
--	---

授業計画 / Schedule	<p>第1回 ガイダンス 第2回 音声習得研究の動向と検討 第3回 中国人日本語学習者の音声事例研究（母音） 第4回 中国人日本語学習者の音声事例研究（子音） 第5回 中国人日本語学習者の音声事例研究（特殊拍） 第6回 中国人日本語学習者の音声事例研究（アクセント） 第7回 中国人日本語学習者の音声事例研究（イントネーション） 第8回 中国人日本語学習者の音声収録 第9回 中国人日本語学習者の音声分析 第10回 日本人中国語学習者の音声事例研究（母音） 第11回 日本人中国語学習者の音声事例研究（子音） 第12回 日本人中国語学習者の音声収録 第13回 日本人中国語学習者の音声分析 第14回 発表 第15回 まとめ</p>
-----------------	---

成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み、課題への対応状況、レポートの成績を総合的に判断して行う。
------------------------------	---------------------------------------

教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	<p>授業中に配布する。 また、音声分析ソフト（種類は任意）を使用する。</p>
---	---

課程 / Program	博士後期課程	開講年度・学期 / Semester	2025年度 2期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	特殊講義 II グローバルコミュニケーション		
授業担当教員/Faculty	鈴木 茂		
授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	<p>学術研究の基本的な手法として、政治学で用いられている「推論」の方法について学びます。テキストとして、久米郁男『原因を推論する』（有斐閣、2013年）を章ごとに読みます。</p> <p>政治学における「推論」の方法を理解し、論文作成に活かせるようにする。</p>		
授業計画 / Schedule	<p>久米郁男『原因を推論する－政治分析方法論のすゝめ』（有斐閣、2013年）を章ごとに読みます。</p> <p>第1回 授業の説明 第2回 第1章 説明の枠組み 第3回 第2章 科学の条件とは・反証可能性 第4回 第3章 観察・説明・理論 第5回 第4章 推論としての記述 第6回 第5章 共変関係を探る 第7回 第6章 原因の時間的先行 第8回 第7章 他の変数の統制 第9回 第8章 分析の単位、選択のバイアス、監察のユニバース 第10回 第9章 比較事例研究の可能性 第11回 第9章（一）比較事例研究の差異法 第12回 第9章（二）比較事例研究と合意法 第13回 第10回 単一事例の用い方 第14回 討論（オンライン） 論文にいかにか活かすか 第15回 まとめ</p>		
成績評価基準 / Assessment criteria	毎回の授業での報告と討論をもとに評価します。		
教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	久米郁男『原因を推論する－政治分析方法論のすゝめ』（有斐閣、2013年）		